

# 住宅塗装工期1—3

## 三州ペイント、戸建て用塗料

住宅用塗料の三州ペイント（福岡市）は戸建て外壁の塗装で、下塗りなどを省き、1日で工事が終了する新型塗料を開発した。従来は下塗りや上塗りで3日かかっていたが、下地や保護用の樹脂を混ぜ、一体化した。建設現場の人手不足が深刻になるなか、工期短縮で作業を効率化できる。自動車のような光沢が出る塗料も開発。2019年度に新型塗料2種の売上高で計約14億円を目指す。



自動車塗装のように光沢がでる新製品も開発した

## 下地・保護材 一体に 効率化でコスト減

開発した壁面用塗料の「ウォーレスト オールインワン」は下塗り用で使われるウレタン樹脂塗料を改良した。ウレタン樹脂は壁と塗料を密着させる機能を持つ。これに直射日光や雨風による変

色や劣化を防ぐためのシリコン樹脂を配合した。紫外線による顔料劣化も抑えた。効果は10年ほど続くという。

住宅の壁には塗料を3回にわたって長時間あけて重ね塗りするのが一般的だが、新塗料は1種類を3時間あけて2回塗るだけで済む。八藤丸貴実社長は「工事に携わる人件費を抑えられ、工期中の住人の不便さも軽減できる」と強調する。

色はベージュやグレーなど26色を用意。施工工事を含めた塗装代金は同社の他の商品に比べて2割引き下げる。

自動車のボディー用塗料を求めた顧客も増えていく」（八藤丸社長）。

三州ペイントは1984年創業。全国で支店を展開し、戸建て住宅の塗装を請け負っている。（荒牧寛人）

と呼ばれる塗料を塗る。こうした自動車の塗装技術を住宅用に導入。下塗りの上に、金属の質感を出す無機物質の塗料を塗り、最後に表面を保護する無機フッ素の塗料を重ねて仕上げる。無機フッ素は光を散乱させる。角度によって色合いが変化して見えるという。

自動車の塗装は機械を使って吹き付けないと均一に塗り重ねることができず、住宅に向かなかった。同社は無機物質の配合などを工夫し、ローラーを使って平たく塗れるようにした。

耐候性試験を実施し、一般的な塗料と比べても長い25年の耐久性を持つことを確認した。

価格は同社の塗料と比べて2割以上高くなるといふ。長期優良住宅の普及に伴って同社の塗料のニーズも広がっているといい、「高級感のある塗料を求めた顧客も増えていく」（八藤丸社長）。

三州ペイントは1984年創業。全国で支店を展開し、戸建て住宅の塗装を請け負っている。（荒牧寛人）